

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.47》2017年1月発行

新春特別号 2017(平成29年)

バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



海外大分県関係の皆さまへ新春のご挨拶



企画振興部長
廣瀬 祐宏
(Yuhiro HIROSE)

新年明けましておめでとうございます。

昨年4月の熊本地震では、観光地が被害を受け、風評被害もあり、観光客が一時期激減しましたが、観光キャンペーンや九州ふっこう割などの効果により、9月にはV字回復しました。県内の復興は着実に進んでいます。

そのような中、大分県のPR動画「シンフロ」、その第2弾「ゆけ、シンフロ部！」の効果もあり、大分県の魅力度ランキングは全国32位から15位へと躍進し、全国一のランクアップとなりました。また、大分トリニータのJ3優勝、1年でのJ2復帰もありましたし、「日田祇園の曳山行事」を含む「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録決定するなど、うれしい話題もありました。



今年は、3年目を迎える長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」の取組を加速させるとともに、地方創生を着実に前進させ、一億総活躍社会の実現を後押ししていきます。

来年には国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭、そして2年後にはラグビーワールドカップが本県で開催されます。海外からたくさんの方々に来県してもらうため、大分県の魅力を引き続き世界に向けて積極的にPRしてまいります。

故郷大分の発展のため、皆さま方にはなお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって素晴らしい年になるとともに、一層のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。新春のごあいさつといたします。



豆田下町見送幕「鳳凰」
(平成26年度復元新調)



港町見送幕「牡丹に唐獅子」
(平成21年度復元新調)

大分県立美術館(OPAM)では、「日田祇園の曳山行事」が、ユネスコの無形文化遺産に「山・鉦・屋台行事」として登録されたことを記念し、2017年1月9日まで見送幕を展示しています。

注目記事① ベトナムの大使館等主催レセプションでPR

12月6日と9日にハノイ、ホーチミンで開催された日本大使館等主催天皇誕生日祝賀レセプションに、今回初めて大分県ブースを出展し、観光や県産品のPRを行ってきました。既にベトナムで商品展開している萱島酒造さんや今後ベトナム展開を検討されている酒蔵さん、そして通訳としてAPU留学生OBの方々のご協力をいただき、観光と県産日本酒・梅酒のPRを試飲を交えて行いました。

【国際政策課】

在ベトナム日本大使館主催レセプション(ハノイ)



シェラトンハノイホテルの会場に、約700人が参加し、当県以外にもトヨタやホンダ、サッポロビールなどの各社もブースを構えた大規模なレセプションでした。県産酒の試飲も非常に好評で、「これはベトナムで購入できるのか?」、「これはベトナムで販売されている他メーカーのものよりも美味しい」など、高い評価をいただき、県産品の高いポテンシャルを確認することができました。

在ホーチミン日本総領事館主催レセプション(ホーチミン)



ホテルニッコーサイゴンにて、約300名が参加してのレセプションが開催されました。開始直後からたくさんの方がブースを訪れ、さまざまな日本酒、梅酒を楽しまれました。ホーチミンでも、「非常に美味しい、どこで買えるのか?」、「大分に一度行ってみたい」など、非常にポジティブなコメントをたくさんいただきました。

大分県人会メンバーとの情報交換

ハノイ大分県人会の安藤事務局長様(写真左)ならびにホーチミン大分県人会の井上事務局長様(同右)にご面会いただき、各県人会や大分の状況について、情報交換をさせていただきました。お忙しい中、誠にありがとうございました。



注目記事② 台湾の学校3校と大分県の高校が学校交流

12月12日に台湾から3つの高校が来県しました。高雄市から来た前鎮高級中学と瑞祥高級中学はそれぞれ大分鶴崎高校と大分豊府高校、新北市から来た雙溪高級中学は宇佐高校と学校交流を行いました。お互いの学校について英語で質問し合う授業や書道を体験するなど、交流を深めました。

翌日には、前鎮高級中学と瑞祥高級中学はAPUと交流。台湾の先輩学生による大学生活の説明や、グループに分かれてのキャンパスツアーを行いました。 【観光・地域振興課】



宇佐高校の様子



豊府高校の様子



鶴崎高校の様子



APUにて

注目記事③ 由布高校が台湾を訪問

12月8日から11日まで、県立由布高校が台湾を訪問しました。台中市では、林市長に表敬したほか、由布高校生徒たちによる庄内神楽「鹿兒弓」の披露があり、台中市清水高校からは室内音楽やジャズなどのパフォーマンスがありました。また、高雄市にも訪れ、市教育局の范翼緑局長を表敬し、高雄市社教館ホールにて、小港高校文化サークルのパフォーマンスや、10月に同校が由布高校を訪問した際の交流活動の紹介、高雄の名所形跡の紹介などがあり、由布高校の生徒からは神楽「神逐」「大蛇退治」の上演がありました。 【国際政策課】



2016の県政10大ニュース



(県広報広聴課HP)
<http://www.pref.oit.a.jp/soshiki/10400/jyudainews.html>

1

熊本地震～自然災害がおんせん県おおいたを直撃～

- 熊本地震、干ばつ、台風、阿蘇山噴火等、自然災害が多発
- 住宅再建などの生活支援やグループ補助金、県独自の災害特別融資等を活用した観光・商工業等への支援を実施
- 九州ふっこう割と観光キャンペーン実施等により9月宿泊者数は対前年同月比104%
- 熊本県及び同県南阿蘇村への人的支援として県及び市町村の職員を900名派遣

2

東九州自動車道全線開通～九州の東の玄関口へ～

- 九州を循環する高速道路ネットワークが形成、東の玄関口としての拠点化戦略会議が発足
- 台湾(台中)からの定期チャーター便が就航 ○大分港～清水港間に定期RORO船、大分港～台湾間に定期コンテナ船が就航
- 東九州新幹線の費用対効果1.07、人口ビジョン達成なら1.36。大分県の整備推進期成会を設立
- 50年ぶりの新大分川架橋「宗麟大橋」、平成29年度末までに開通予定
- 大分市中心部の街並みを引き立てる昭和通りの再生「リボン197」がスタート

3

UIターンが加速～人口の社会減に歯止め～

- 平成27年度移住者数は454人と過去最高。住みたい田舎ランキングで宇佐市、豊後高田市が全国3位
- 政府機関の地方移転で日本語パートナーズ事業の一部機能移転による研修拠点設置が決定
- 都道府県別魅力度ランキングで過去最高の15位、全国一の順位上昇率(17位アップ)
- Uターン促進動画「ゆけ、シンプロ部!」公開、公開早々100万回以上のアクセスで好評

4

安心おおいた 三つの日本一へ挑戦～子育て満足度、健康寿命、障がい者雇用率～

- 1～9月の出生数が前年同期比で伸び率全国一 ○「おおいた子育て応援パスポート」サービス開始
- 大分県の健康寿命(平成25年調査)男性16位、女性10位に大幅上昇
- 「健康寿命日本一おおいた創造会議」設置 ○障がい者雇用率が過去最高の2.46%に上昇
- 県立病院精神医療センター(仮称)の平成32年度中の開設を目指すことを決定

5

大分県版クリエイティブ産業キックオフ～新たな活力創造と競争力の強化～

- ドローン研究所開設、デジタルカメラの総合技術棟完成など先端技術企業の投資が進み、誘致件数が年間36件と過去最高
- 大分県航空機関連産業参入研究会(愛称:おおいた空飛ぶ研究会)発足
- 留学生ベンチャーサミット開催とおおいた留学生ビジネスセンター開設
- サービス産業生産性向上にむけた人材育成講座開始 ○「大分県働き方改革推進会議」設置

6

マーケットインの商品(もの)づくり進む～農林水産市場に勢い～

- 肉用牛(枝肉、子牛)市場で過去最高値、白ねぎ、キウ、養殖ヒラメなどで過去10年間の最高値を更新、こねぎ、トマト、乾しいたけなども高値安定
- 「甘太くん」の生産者が大同団結(JAおおいた「甘太くん部会」設立)
- 畜産公社に新たな食肉処理施設が完成、県産豚ブランド「米の恵み」に決定
- 農林水産業の新規就業者362人と好調 ○「地域農業経営サポート機構」が日田市と臼杵市で発足し、担い手不足をカバー
- 丸太生産量140万m³に向けて「おおいた林業アカデミー」を開講 ○おおいた県産魚の日を創設

7

「教育県大分」創造プラン2016スタート～地震に負けずにがんばる大分の子どもたち～

- 学力では小学生が九州トップレベルを維持、体力では中学生が躍進し小中学生の男女いずれも九州トップレベルを達成
- 全国高等学校総合文化祭(自然科学(化学)部門)で3年連続最優秀賞(県立大分上野丘高校)
- 高校生ものづくりコンテスト全国大会(電子回路組立部門)で3年連続優勝(県立鶴崎工業高校)
- 全国高等学校総合体育大会等の4競技で優勝(自転車・フェンシング・ボート・ライフル射撃)
- ロボット相撲世界大会で、大分工業高校未来ロボット工学研究部顧問率いる県勢チームが優勝
- 津久見高校海洋科学学校の単独校化決定、実習船共同運航に向け香川県と覚書締結

8

国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の大会テーマは「おおいた大茶会」～芸術・文化の振興～

- 国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の基本構想を決定し、キックオフイベントを開催
- 「日田祇園の曳山行事」を含む「山・鈴・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録決定
- 世界農業遺産の郷「田染荘」の里山・山林エリアが重要文化的景観に追加選定

9

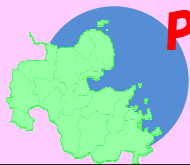
大分トリニータJ3優勝、J2復帰～スポーツの振興～

- 大分トリニータJ3優勝、1年でJ2復帰へ ○ジャパンラグビートップリーグの試合が大銀ドームで10,514人を集めて開催
- フェンシング日本代表等8か国代表キャンプや青山学院大学陸上競技部キャンプを誘致
- 大分国際車いすマラソン大会をテレビ初中継

10

おおいたうつくし作戦本格スタート～世界に誇る大分県の天然自然～

- おおいたうつくし推進隊73団体4,990名、うつくし隊82団体、5,039名が「ごみゼロおおいた作戦」の成果を更にステップアップ
- 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク国内推薦決定と記念シンポジウムを開催
- 「阿蘇くじゅう国立公園」が国の国立公園満喫プロジェクトモデル事業に選定
- 水郷ひたの清流復活へ、官民の協議会で流量増合意



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（12月）



【12月3日(土)】護国神社の大破魔矢と大熊手

大分県護国神社に、高さ18.8メートル、重さ1.8トンの破魔矢、高さ12メートル、重さ5.1トンの熊手がお目見えしました。大型クレーン車で設置された両縁起物は日本一の大きさを誇り、また、同社では縦3メートル、横5メートルの巨大絵馬も飾られています。



【12月18日(日)】ロボット相撲で2部門優勝



参加者が自作したロボット力士を技術とアイデアで戦わせる競技である全日本ロボット相撲大会全日本の部にて、「自立型」「ラジコン型」の両部門で大分工業高校教諭の松永芳史さん率いる「マルす部屋」が優勝し、ラジコン型は世界大会でも優勝しました。この大会には、国東高等学校や大分大学など8チームが出場しています。



【12月19日(月)】県産新ブランド豚肉「米の恵み」発売

大分米ポークブランド普及促進協議会は、飼料総量に対して10%以上の米を配合した飼料を肥育後期に与えて育て、オレイン酸を多く含有した豚肉を、統一ブランド「米の恵み」として販売を開始しました。オレイン酸を多く含んだ豚肉は、甘みとクセのない香りが特長で、また脂肪融点が低く舌触りもなめらかだといわれています。



【12月21日(水)】大分空港足湯がゆず湯に



別府市の温泉から毎日運搬し、源泉かけ流しでひのき風呂に入湯できる大分空港の足湯にて、冬至である21日に県内最大産地の宇佐市院内町の柚子を浮かべました。約40個ずつ使用し、さわやかな香りで観光客を楽しませました。

※国際政策課にて新聞等を元に作成



おおいたライフ

県内在住外国人による大分生活よもやま話



私は韓国出身の趙鏞俊(チョウ・ヨンジュン)と申します。

日本での生活は8年目で、大分大学を卒業し、現在大分銀行で仕事をしています。今回、過去自分が観光客として大分に訪れた時に経験した別府温泉についてお話したいと思います。

初めて別府に行った時に驚いたのが硫黄の匂いと町の中で立ち上がる湯けむりの風景でした。日常の中に温泉がある光景はとても印象に残るものでした。韓国にも温泉地として知られた場所がありますが、豊富な源泉を持たず

本格的な温泉を経験するのはやや難しいものです。しかし別府では温泉入浴だけでなく、温泉を利用した食べ物や多様な観光コースが整っており、新鮮で楽しい経験がたくさんできました。

今は大分に住みながら、大分を訪れる友人に観光地を紹介したり、訪れた場所の写真や動画を作りながら自分が経験した大分を世界へ広めようと思っています。大分の情報発信の力になればと思いますので、今後よろしくお願いいたします。



海地獄

From our Reporters

県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



ミアム・スターリング
(Miriam Starling)
県国際交流員
英国
pu101503@pref.oita.jp

12月2日におおいた国際交流プラザが開催した「国際理解講座～オランダ編～チューリップと風車の国」のイベントに行きました。プラザは交流を推進するために、よく国際理解講座というイベントを開催しますので、海外に興味があれば、ぜひ参加してください。パイク・ヴァン・ゾン氏という徳島県美馬市のオランダ人の国際交流員がオランダの歴史、文化などについて発表してくれました。その後、みんなでヨーロッパのチーズとワインを飲食しました。日本の鎖国時代、ヨーロッパの国々の中ではオランダしか日本の幕府と貿易できなかったのが、オランダと日本の交流や歴史は特に興味深いです。その上、貿易の場所は長崎の出島なので、九州は日本の最初の国際舞台だったと言えるかもしれません。歴史のほか、オランダの現代文化について学びました。たとえば、オランダの美術、オランダ人の建物等について。ユーモア溢れる楽しい発表だったので、笑顔が多かったです。私も日本にいる間に、自分の国について、パイクさんのように上手に話せるようになるため、一生懸命がんばります！ちなみに、私も来年、プラザと協力して、イギリスの講座を開催する予定なので、興味がある方、是非参加してください！プラザは昨年度、ブラジルやイスラム教などについてのイベントを開催したので、来年もおもしろいイベントが必ずあると思います。



金 眞雅
(Kim Jina)
県国際交流員
韓国
pu101502@pref.oita.lg.jp

家族が大分に来てくれました。大分への訪問は約1年ぶり、今回は九州復興割クーポンを使い、杉乃井ホテルに泊まりました。私も日帰りで行ったことがないため、一度は泊まってみたかったホテルです。家族は眺めの良い棚湯がとても気に入ったようでした。せっかくだから朝日を見たいと朝早く日の出の時間に合わせて棚湯に行きましたが、残念ながら女性の棚湯からは柵に隠れてあまり見えなかったです。ホテルから出て着物体験をしに杵築へ向かいました。家族は初めて着てみる着物が慣れないと言いつつも、城下町で写真を撮りまわりました。今度こそ前回行けなかった杵築城まで行きたかったのですが、展望台から杵築城を見た家族は遠いからやめようと言って諦めるしかありませんでした。しかし、この日も晴れやかな着物日和で、何よりでした！



シェリダン・ミキシック
(Sheridan McKisick)
県国際交流員
米国
pu1014001@pref.oita.jp

今月湯布院に行きました。今回の旅は二回目で、歩く代わりに駅から電動自転車を借りました。自転車は力があるので思ったより早く終点の金鱗湖に到着できました。駅で自転車を返却したあと、おいしい和食のレストランで昼ご飯を食べました。食の種類が多く、とり天などを含む大分名物の食べ物がたくさんありました。食べ終わったら湯布院の魅力的な町を歩いて、大分市に帰る前にデザートクレープを食べました。楽しくておいしい一日でした。



章 羽紅
(Yuhong Zhang)
県国際交流員
中国
pu101501@pref.oita.jp

12月に入り、クリスマスの雰囲気が一層深まってきました。市内の各地で早くからイルミネーションが点灯され、クリスマスが近づいてきたと日々感じています。さらに、夏の定番の花火大会は冬の別府では「異例」の「べっぴんクリスマス花火ファンタジア」が開催されます。そして、今年はなんと23回目を迎えました。風が強い中、予定通り開催されるかどうか直前にならないと分からなかった今回の花火ファンタジアですが、たくさんのお客さんが集まって、寒い中、花火の打ち上げを見守りました。1万6000発の花火は夜空を彩り、お客さんの歓声をたくさん浴びました。



なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～ 【大分市／別府市】



(大分市)
「アートプラザ」
1966年に県立図書館として完成、現在は文化情報交流の場



(大分市)
「平和市民公園」
姉妹都市記念の国際交流広場や「ムツちゃん平和像」がある



(別府市)
「鶴見岳の霧氷」
標高1,375mの山頂付近で例年3月ごろまで観測可能



(別府市)
「明礬温泉」
施設内には茅葺き屋根の“湯の花小屋”が立ち並ぶ

話題提供のお願い！

県人会の活動（懇親会等）や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！（様式は任意です）

【記事提供先／お問い合わせ先】
国際政策課 担当：野田
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp

